

## 世と教界を見る目を養う(15)

### =バビロンの系譜②=

**御言葉:使徒8:9-25; マタイ12:39**

(1)シモンと言う人物:伝承ではローマにて、神として礼拝を受けた;ヘレナ(ミネルバ)と言う女が同行し、彼はメシアであり、慰め主であり、ジュピターであるとされた→あらゆる異端やオカルトの元祖と言われている

(2)シモンの心:

- ・魔術でサマリアの人を驚かせ、偉大な者と自称
- ・人々も神の力として崇める→魔術に心を奪われていた
- ・フリボによってバプテスマを受け、しるし不思議に驚いていた
- ・ペテロとヨハネにより、聖霊が下ると、金でそれを得ようとした
- ・力を求めたが、ペテロから滅びよと宣告される
- ・心が神の前に正しくない、悪の縄目に縛られている→人の目にあって生きていた
- ・災いからの救済をペテロに懇願する

(3)現代の風潮:

- ・神の力やしるし・不思議を求める動機が自己栄光化→バビロンの霊
- ・シモンはバプテスマを受けていたが、心が正しくない→クリスチャンと言われる人々の本質はどこにあるべきか
- ・主のしるし(マタイ12:39) =ヨナのしるし = 死と復活
- ・魂の力と霊の力が明確により分けられる時代(参考:Neeの"The Latent Power of the Soul")

(4)再確認: 私たちの心の置き所・求めるもの・動機がどこにあるか